

オオカミの護符

里びとと

山びとの

あわいに

平成
20年度
受賞

文化庁映画賞
文化記録映画優秀賞

平成
20年度
受賞

アース・ビジョン賞
アース・ビジョン地球環境映像祭



監督 ◆ 由井 英

製作 ◆ 小倉美恵子 小泉修吉

制作配給 ◆ (株) ささらプロダクション

共同製作 ◆ (株) 環境テレビトラスト

『オオカミの護符』製作委員会

支 援 ◆  文化庁

後 援 ◆ 川崎市・川崎市教育委員会

協 賛 ◆ セレサ川崎農業協同組合

土橋町内会

(有) 有為設計

(株) サメジマコーポレーション

(有) 大倉商事

協 力 ◆ 宮前区観光協会

たまプオーラム

川崎土橋郵便局

東京急行電鉄株式会社

毎年、宝登山神社や三峯神社に講中として「お犬様」を借り、「お犬替え」と称し登拝しています。一年間家内安全をお守りいただけるので、安心して生活ができます。秩父でオオカミ(オオカミ)の護符を出している所は十指に余るほど盛んでした。三峯神社の史料に宝暦四(1754)年、猪鹿除・盗難除として「御犬御拝借」といった村役人の願書があります。この頃から広範囲に庶民の信仰として生き続けています。

栃原 嗣雄【宝登山神社 谷ツ平講 講元/秩父郡長瀬町】

野生の狼が日本列島にいなくなってから、まだ百年ほどしか経っていない。のに、私たちは忘れてしまった。オオカミという野生のいのちの存在も、それが伝えてくれる、山、大自然のメッセージも。「オオカミの護符」は、その大自然からのメッセージを受けとる伝統文化である。人々は、それを受けに山に向かう。

姫田 忠義【民族文化映像研究所 所長】

かつて畏怖の対象であり、害獣から作物を守ってくれる尊い生き物でもあったオオカミ。姿を消して1世紀以上経た今も、信仰を通じて山人と里人をつなぐ偉大な存在。本作品は、我々が失ったもの大きさについて深く考えさせてくれます。

平川 南【国立歴史民俗博物館 館長・山梨県立博物館 館長】

関東の里に暮らした百姓たちを、この映画は、武蔵の国という雄大な自然のつながりのなかでとらえかえた。ご神体としての山々から「オオカミの護符」が降りてくる。山、川、里をつなぐ世界にみえてくるは、過去、現在、未来の結びつき。

内山 節【哲学者】

過去は過ぎ去らない。まなざしを向けば必ず出会える。と私は考えてきた。「オオカミの護符」で、私はそれがすぐ手の届く所にあること、この都会の真ん中にその入り口が待っていることに驚き、感動しながら呆然としてしまった。人が地に足をつけて自然とともに生きていた証が、はつきりと見える映画だ。

田中 優子【江戸学者/法政大学社会学部教授】

おいぬさま、ヤマヌ。特殊な存在であるオオカミを「いぬ」と呼ぶ。肩甲骨を焼いて占いをする。山を信仰する。どれもが故郷のモンゴルのことを思い出させた。栄えた大都會のイメージが強い日本も自然にもどればモンゴルに近いのか。自然を共生の場にすれば力を合わせて生きるという人間生活の原点をこの映画で再認識した。

フフバトル【昭和女子大学人間社会学部准教授】

自然を愛し、自然に感謝する人々のささやかな気持ちが現代にまで続く根強い信仰心を生んだ。僕は表現者の一人として、人々の「感謝する姿」に芸術の原点を感じ、愛おしくなるような気持ちになりました。見終わった後、自然を心から愛せるようになる作品です。子供の頃に忘れてきてしまったお昼寝の心地よさのような静かな感動が心の奥の方に訪れました。

清塚 信也【ピアニスト】

オオカミの護符

平成20年度文化庁映画賞受賞

平成20年度地球環境映像祭アースビジョン賞受賞

監督・編集◆由井 英
制作◆小倉美恵子、小泉修吉 撮影◆伊藤碩男、由井 英
音声◆河合樹香 助監督◆中嶋美紀
音楽◆姜 小青(中国古箏)、千鳥幸明(篠笛)
ナレーター◆糸 博 語り◆小倉美恵子
題字◆永田紗戀 版画◆小林奈那
編集/録音スタジオ◆アクエリウム 上映スタッフ◆大江純恵、吉江志づか
デザイン◆熊澤正人(ハワーハウス)、三井佳奈、岩井友子
制作協力◆グループ現代、民族文化映像研究所

撮影協力◆土橋御嶽講中の皆様、馬絹御嶽講中の皆様、武蔵御嶽神社、青梅市郷土博物館 井上芳一氏、寶登山神社、寶登山谷ツ平講中の皆様、三峰神社 猪狩神社氏子中の皆様、山中恭介・トキ子氏、村上直氏(法政大学名誉教授) 西本豊弘氏(国立歴史民俗博物館)、齋藤 慎一、川崎市立土橋小学校 武州御嶽山御師家古文書学術調査団(法政大学/青梅市教育委員会) たましん地域文化財団 柴原ハナ氏、柴原福治氏、大久保スエ子氏、小倉フミ氏、鮫島時子氏、小倉 知氏、船津貞夫氏、杉崎治郎氏、宮前平ハイデンス、コトー宮前平 資料提供◆内野隆氏、小倉 勇氏、柴原シゲ子氏、栗嶋公喜氏、(有)平楽商事 清水武司氏 山梨県立博物館 靱矢栄三氏、三井定子氏、埼玉農林総合研究センター 水田農業研究所

「オオカミの護符」に導かれ、お山の「世界」へ...



「お犬様」と呼ばれるオオカミの護符を、土蔵や畑に貼ってきた関東のお百姓の暮らしには、今なお身近な自然を尊ぶ姿がある。関東平野をぐるりと囲む山々には、かつてニホンオオカミが棲んでいた。オオカミが護り札となる背景には、人がオオカミをありがたいたい存在と考えてきたすがすがしさが見てとれる。自然との共生が声高に叫ばれる現在、先人が守り伝えてきた「足元にある暮らし」を、深く捉え直すことこそが、私たちの行く手を照らし出す。ニホンオオカミは絶滅したといわれる。それでもなお、オオカミの護符は今も私たちの暮らしを見守り続けている。

監督 由井英



「オオカミの護符」が単行本に!

新潮社より ◆定価1500円(税別) 全国書店にてお買い求め下さい!

DVD好評発売中! 『オオカミの護符』3500円(税込) 『うつし世の静寂に』3800円(税込)

問い合わせ (株)ささらプロダクション 〒216-0005 川崎市宮前区土橋7-26-1 tel:044-982-7233 fax:044-982-7235 E-mail: info@sasala-pro.com 公式ホームページ <http://www.sasala-pro.com/>

Ohkami no gofu

